

NPO法人ありんこ公式ホームページ
arinnko.sakura.ne.jp

右のQRコードを読み込むと、ホームページを閲覧できます。



ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部

編集責任者 一戸 由佳

住所 青森県弘前市大字富栄
字笹崎80-1

電話 0172-96-2774

Fax 0172-55-9591

令和2年度青森県医療的ケア児支援体制検討部会開催

9月17日(木)に青森市の「ラ・プラス青い森」において、今年度初めての医療的ケア児支援体制検討部会が開催されました。県医師会の田中完先生を議長、県病の網塚貴介先生を職務代理者として委員の約三分の二が再度委嘱される形となりました。

今年度はまず、施策の概要や取り組みについて、そして懸案だった他職種コンサルテーションチームについての報告がありました。コンサルテーションチームのコアメンバーには前述の網塚先生、同じく県保育成科副部長の大瀧先生、そして八戸市立市民病院の小児看護専門看護師の奥寺さんの3人が選ばれ、具体的な対応困難事例に合わせて、個別の専門家を交えた多職種チームで支援する体制を整えていくとのことでした。しかし、現状コアメンバーは3人で、これまでの相談事例だけでも既にマンパワー不足で難しい部分もあるようです。多くの相談にじっくり向き合うためには連携できる専門家を増やしていくことが急務であると感じました。

それから、情報として、厚生労働省で進めている「医療的ケア児等医療情報共有システム(MEIS)」について、昨年からは運用されていたものが本格運用になったと説明がありました。

このシステムは医療的ケア児等が旅行などで出かける場合、全国どこでも必要な医療が受けられるように、かかりつけ以外の病院でも医療等に関する情報を共有したいという要望に応えるシステムです。厚生労働省の方では「医療的ケア児」を対象としているようですが、登録の内容を見ると、発作の状況や服薬している薬の情報、基礎疾患や経緯、経過など細かな情報が入れられ、例えば災害時にかかりつけ病院以外で受診しなければならない際など、医ケア児に限らず登録できれば安心なシステムであると感じました。広い普及を願います。

NPO法人ありんこ会員継続のお願い

会員の皆様にはいつも多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

10月から会員継続依頼のおたよりをお届けいたします。継続していただける場合には、会員継続申込用紙に必要事項をご記入の上、年会費と一緒にご提出をお願いいたします。なお、口座に入金される場合、会員情報に変更がある場合にはご連絡をお願いいたします。

ハロウィンかぼちゃ 2020

今年も10月になり、春に植えたかぼちゃの収穫の時期を迎えています。猛暑と大雨、それに加えて害獣の食害により、例年になく不作が予想されます。

小さいサイズの物は少し収穫できそうですが、今年は大きなサイズのものは難しそうです。ハロウィンかぼちゃのご相談はお電話で。(0172-96-2774ありんこ 佐藤・一戸由佳)

いちのへ耳鼻科からのお知らせ

インフルエンザワクチン接種は11月からです!

新型コロナウイルス感染症の流行は終息が見通せない状況ですが、今年もインフルエンザワクチンを会員様限定の特別価格、1人1回1600円(税込み)で提供いたします。対象はありんこ会員様とご家族様(3歳以上)となります。

ワクチン確保のため、接種希望の方は10月中旬に電話で接種希望の旨をご連絡ください。(0172-96-2774 予防接種担当一戸由佳まで)

「児童デイサービスやよいのあかり」ご利用者さまにつきましては例年通り事業所での接種もできる限り対応させていただきますので、お電話いただく際に合わせてご相談ください。

五所川原市の「いちのへ耳鼻科」で接種される場合には、接種人数とお名前、回数(成人1回、小児2回)をお知らせいただければ日時の予約は必要ありません。当日この「ありんこだより」をご持参の上受付でご提示いただくと、特別価格となります。なお、接種の前に診察いたしますので、保険証のご準備もお願いします。耳や鼻に関して、合わせてご相談いただくこともできます。



「いちのへ耳鼻科」診察情報

受付時間 8:00~12:30
12:30~18:00
診療開始 午前9:15~
午後15:00~

詳細は「いちのへ耳鼻科」で検索いただくか、下記ご参照ください。

<http://junban.com/ichinohe/>

*休診日は日祝日及び偶数週の土曜日、奇数週の木曜日

理事長のつぶやき

～気になるコトバ～

ふと思いついて、スマートフォンで「禅のことば」を検索してみた。知りたいことがすぐに出てくる。便利な世の中になった。その中で、いつになくササクとした私の心に留まった言葉を紹介しようと思う。

◎「両亡(りょうぼう)」

簡単に言うと「あらゆる相対の両極を捨て、一極、ものごとの本質を掴むことに力を尽くしなさい。」ということだろうか。私たちは意見がぶつかったとき、「どちらが正しいか」と考えてしまいがちだ。互いに正しいと思っているから、「正」と「正」がぶつかり合うことになる。これでは答えがすんなり出ること稀だろう。「どちらが」ではなく「何が」正しいのかという視点で物事を考えなければ本当に正しい答えは導き出せない。

◎「知足(ちそく)」

今の自分に特に刺さった言葉である。「足るを知る。」あれこれ足りないと思わず、自分が既に十分足りている、満足なんだと思えると、心穏やかに過ごせるということだが、これは難しい。

◎「而今(にこん)」

「過ぎ去った時」「この瞬間」は二度と戻って来ないということ。過去を振り返り反省することは悪いことではないが、それよりも「今」を懸命に生きよというメッセージ。

◎「脚下照顧」

(きやつかしょうこ)

自分の足元を見よとの教え。転じて一般に「履物を揃えましょう。」の意味ともなる。わが身、わが心を振り返り、自分の今いる立ち位置を良く見極めて物事に当たれという意味だ。

さて。まずは毎日忘れず玄関の靴を揃えるところから始めてみようかな。